

中学生からの質問

Q1 検察官を志望した動機は何ですか？

大学生の時に受けた刑事政策の授業がきっかけでした。一度は罪を犯した人が、時に自暴自棄になりつつ、希望を見い出して更生への努力をする経過に、深い興味を覚え、刑事事件に携わる仕事をしたいと考えるようになりました。

司法試験合格後に、検察官の仕事ぶりを間近に見て、罪を犯した人と向き合うことの難しさを知る一方で、警察と協力して事件を解決する充実感も知り、社会正義の実現と罪を犯した人の更生の双方に関与できる仕事として、検察官になりたいと決めました。

Q2 検察官の仕事でうれしかったことは何ですか？

例えば、罪を犯した人が、しっかりと自分に向き合い、更生の決意を固めたときです。取調べで、罪を犯した人が、「検事さんと話す中で、自分の弱いところと向き合えた。これからやり直すために、真実を話して罪をつぐないたい。」などと述べたときは、自分の仕事が他人の人生に良い影響を与えられたと思い、大変うれしかったです。

また、犯罪の被害にあった人の苦しみや悲しみに寄り添うことも心がけており、警察と協力して事件を捜査して加害者を適切に起訴し、事件の関係者から感謝とねぎらいの言葉をかけられた時も、努力が報われたと感じ、うれしかったです。

Q3 中学生や高校生の時期にするとよいことは何ですか？

中学生や高校生の時期は、好きな物事があれば、それに熱意を持って取り組むこと、少しでも興味や関心を持てるものがあれば、それについて沢山情報収集する癖をつけると良いと思います。

将来どのような仕事を選ぶにしても、中学生や高校生の時期に学び、興味を持ったことは、きっと役に立つはずです。

終わりに

今回は、検察官の仕事について質問してくださり、ありがとうございます。

私は、まだ検察官として未熟ですが、改めて「もっと頑張ろう。」と思えました。

学校生活を楽しみながら、元気に過ごして下さい。

※ プライバシーに配慮し、趣旨を変えない範囲で内容を一部修正しています。

※ 対応した公判担当検察官は、任官から5年以内の若手検察官です。